

# エコライフDAY埼玉 2019 夏

～ストップ！地球温暖化～



## 1 エコライフDAY(夏)成果 一令和元年度一

参加した人数 **11,424** 人

※小学生 3,506 人、中学生 2,345 人、特別支援学校生 15 人と、そのご家族及び教職員が参加しています！

削減した二酸化炭素の量 **10.21** トン

※1人当たりの削減量は約 894 g となります！

ブナの木：約 929 本  
(スギの木：約 730 本)  
の一年間に吸収する  
二酸化炭素量に相当

【詳しくは裏面をご覧ください！】

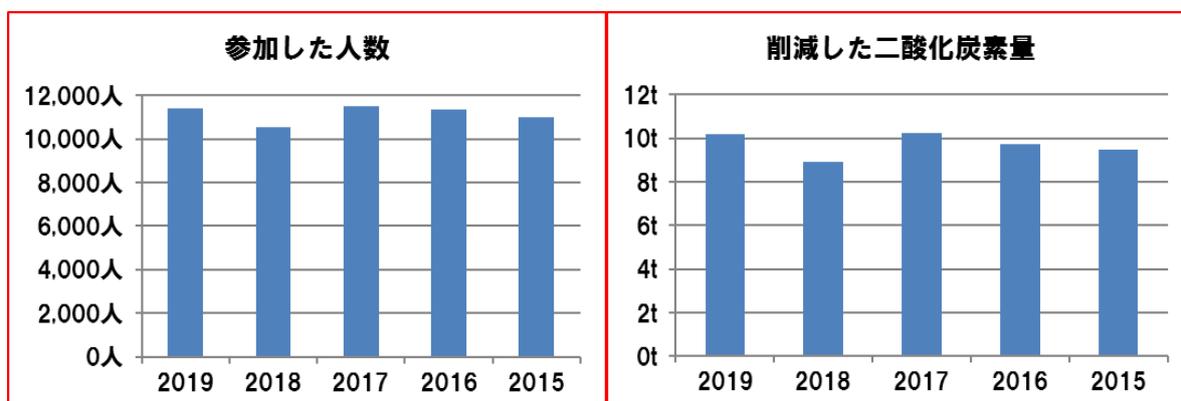
- ※1年間に吸収する二酸化炭素量は、ブナの木1本が約11kg（独立行政法人森林総合研究所調べ）、スギの木一本が約14kg（林野庁HP）として換算しています。
- ※エコライフDAYの回収・集計作業は、富士見市環境施策推進市民会議推進員の協力を得て行っています。

## 2 集計結果

区分	参加した人数	削減した二酸化炭素量
小学校	8,518 人	7,272,308g
中学校	2,850 人	2,891,999g
特別支援学校	56 人	49,861g
合計	11,424 人	10,214,168g

### 3 エコライフDAY（夏）の推移

実施年	参加した人数	削減した二酸化炭素量	一人当たり削減量
2019	11,424人	10,214,168g	894g
2018	10,547人	8,932,414g	847g
2017	11,521人	10,268,123g	891g
2016	11,380人	9,711,463g	853g
2015	10,984人	9,473,110g	862g



### 4 参加者の感想・工夫点など

小学生

- ・これ以上暑くなると困るので地球のために出来ることを続けようと思った。
- ・未来を生きる人のためにエコをしようと思った。だから夏休みも積極的にエコに取り組もうと思った。
- ・できるだけ水筒を使ったり、自動車を使わなかったり、いろいろ工夫してみる日を増やして行って、二酸化炭素を減らしたいと思いました。

中学生

- ・自宅の照明をLEDに交換したり、外出の時に自動車を使わずにバス・徒歩・自転車・電車を利用するだけで、二酸化炭素を減らせて地球温暖化を防げるので、エコライフを続けていきたいと思った。
- ・今の地球の現状を知ることで、今までの生活の反省すべき点や今後取り組むことなどがとても大事な事だと思いました。
- ・環境を守ることは私たちを守ることにもつながるので、未来ある地球を守っていけるといいと思いました。そのため、風呂の残り湯を洗濯に使うなど、一人一人が意識してできるといいです。

この一日をきっかけに  
環境にも家計にも優しいエコライフを続けていきましょう！